

# 大橋 ごいやくさん巡り

人は誰もがいつも不安や悩みをかかえて生きています。だからこそ、何かすがるもの、心の支えになるものを昔から求め続けて生きています。大橋の中にある神様、仏様、お地蔵様に、行って、お参りしてみませんか。ご利益はもとより、手を合わせ、祈りを捧げることで、心身のすざらぎ、平穏な澄んだ気持ちになる一助でありまうように。



柚子畑

森田自働神

丈のツキ

阿闍梨様

阿闍梨様は龍か大蛇の神様といわれている。

大北組

阿闍梨様の丈柿、根回り7m、幹回り5.7m、樹高20m、昭和47年県天然記念物に指定される。根が分かれた樹体は四方八方に大きく広がります。ウジとカタツムリが十二支が方位にまつわるような名前をついた枝もある。また、大昔、上部より山崩れで、すべて落ちて転がり、上下が逆になって生き続けているといわれている。

片岡工務

夕暮に化かした話も多く伝わる。昔、昔の人は自然界と交信することができていたのだらう。

中屋組

いぼの先が白い夕暮はも化かす

山で生きていくためには山の神様に守ってもらわねばならぬ。そのためにはちゃんとお祈りをしてあげねばならぬ。山のあちらこちらには神様がいらっしゃる。山で事故や怪我のないように。獣に食べ殺されないように。山の神様はいっしょ守ってくれ。山の神様を文事にしていかんと山では生きていけん。宮地に「橋山のせらふ」

私達は両親、祖父母と命をつなげてくれた先祖様に守護されている。また神様は自然界ありとあらゆるものに宿り、見みと手を繋いでくれる。

御在所山の姿がよく見える



昔は軒下あみかたバスやトラックが走っていた。

物部の中心地 大橋

物部町内には神社や地蔵様がたくさん祀られている。山や川、自然そのものが神である。物部の人々の暮らしや仕事や学業が山や川など自然と密接に結びついてきたことの証しだ。

かつて遠足やハイキング大会がこのあたりで開催されていた。植林もよく眼付。大橋の町が一望できた。

昔、別府の神主、物部市の山川村(菅束町)の石段神社から一方のカゴに塩を、一方のカゴにご神体を入れこの峠に来た時、オオクが折れ塩が転げ落ちた所が「塩」。一方ご神体は動かなく(な)この鎮座したことから塩釜工方神社があるといわれている。

山の神様、水神様、八百万のおかげさま。最近まわりは「オレサマ」ばかり。(いざなぎ流の松より)

中上組

大橋の産土神で昔から信仰があつた。夏と秋には大祭が執り行なわれ、当地の領主だった公女様の祖先がご神体を背負ってこの地に祭ったものであつたといわれる。晩秋の火鎮祭奉納相模が有名。

橋山御籠鎮守

塩釜工方神社

店屋跡

山崎歌姫神社

子授けにご利益

中継所

山崎城跡

八幡宮

NO.137 2023.11.5

橋佐古

湯水に石と現れるハビ島

大橋桜公園

仁井屋組

旧大橋高校

高知県立歴史民俗資料館の民具が保存されている。

大橋保育園

大橋組

葦生辻橋

橋の上から御所山がきれいにとりしりた姿を見ることが出来る。

柳瀬

吹越

SUN SUN 公園

大橋の町は公園、湖、望月小学校が並ぶ。日当たり良い公園。

物部の主な神様、仏様  
大橋橋の利勝尼観音 馬頭観音  
左台相の白髪神社、明女の伊勢又様  
山崎神社、小松神社、別府にある有官神社、影仙頭の阿闍梨堂  
田の内普賢寺、観音堂  
神池の福見寺、大時高坂山崎明堂  
おあち 尊の普賢様、はじめての(おまじ)でく(おまじ)でく

大変珍しい丸内一族の八幡宮が祀られている。丸内姓のルーツは熊押といわれる。

丸内八幡

大橋中学校

久保組

高知中部森林管理署

阿弥陀堂

阿弥陀堂ももとは根ヶ谷や済にあつた常楽寺という寺で、万治年間(1718)に廃寺になった後、八王寺境内にお堂を建立して現在地に移転したと伝わる。御本尊 阿弥陀如来

池田町

仲町

信高町

布後町

八王子宮

工徒

都町

日出町

大橋寺跡

本町

東本町

四銀

大正町

西野建設

日本町

栄町

西町

南組

JA

香美市役所

物産支所

JA

山崎町

物産組合

高知新開具島酒店

JA

グラント

区長島

山崎町

馬前町

郵便局

エネオ

三森組

大橋町

消防

大橋小学校

JA

JA

JA

JA